

既存ストックを活用したリノベーションによるコスト削減

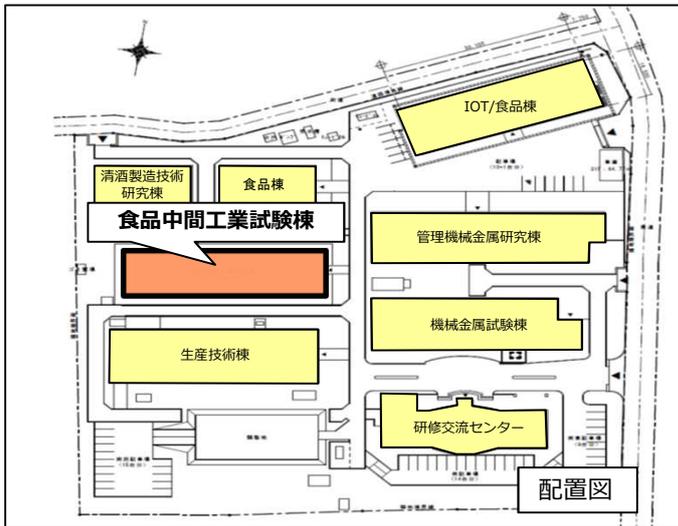
—産業技術イノベーションセンター食品中間工業試験棟改修工事—

事業の目的・概要

産業技術イノベーションセンター敷地内の未利用となっていた既存試験棟のリノベーションを行い、素形材の加工や製造方法などについて、民間企業との共同研究や依頼試験等に対応するため施設の機能拡充や工期・工事予算の縮減を図りました。



(所在地)
東茨城郡茨城町長岡地内
(整備期間)
令和2年2月～12月
(構造)
鉄骨造
(階数)
1階建て
(延べ面積)
728㎡



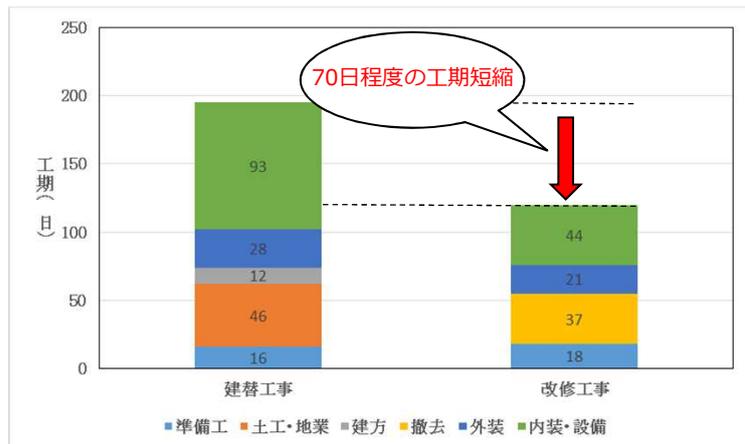
リノベーションとは

既存の建物に大規模な改修工事を行い、性能を向上させたり付加価値を与えることです。元々の建物の躯体を活かした状態で利用するので、既存施設を解体し新しい施設を建てるよりもコストがかからない上に、環境負荷の観点からも注目されています。

リノベーションと建替工事との比較

工期の抑制

リノベーションとすることで、杭工事等の関連工期（土工・事業）を削減するなど、新築工事と比べ、**70日程度の工期短縮**。



工事費用の削減

リノベーションとすることで、建替工事は1.4～1.9倍程度高くなる傾向にあり、同規模の木造新築工事と比べ、**1.2億程度の工事価格を削減**。

